

小規模多機能型居宅介護 サービス評価

【令和元年度】

◆自己評価

事業所自己評価・・・・・・・・・・・・・(事-①～⑨)

◆外部評価

外部評価（地域かかわりシート）・・・・・・(地②-1～6)

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和元年11月29日(14:00～15:00)
1. 初期支援(はじめのかかわり)	メンバー	【常勤】8名 【非常勤】6名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	11人	人	人	14人

前回の改善計画	・毎日夕礼を実施し情報共有を行う ・申し送りノートに重要な申し送り等記載したときは色分けや付箋を貼るなどわかりやすくする ・家族・本人との挨拶等日々のコミュニケーションの徹底
前回の改善計画に対する取組み結果	・夕礼にて、新規の方や利用開始前の方の情報を共有しやすくなった ・申し送りノートで継続して確認してほしい内容や重要な内容を漏れが少なく伝えることが出来た ・利用者本人とは会話の中で希望や不安の聞き取りをおこない、信頼関係を築けた

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	3	11			14
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?		13	1		14
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	5	8	1		14
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	4	5	5		14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
新規の利用者の情報については、フェイスシートの事前確認や夕礼で情報共有出来ている、利用開始時は変更も多いが、申し送りノートで変更の確認も行えている。アセスメント後、なるべく早い段階でフェイスシートを作成、提示し、夕礼で利用開始まで複数回に分けて利用者の情報を伝えることで情報共有がスムーズになっていると思う。 利用開始後は、ご本人のご性格や、声掛け方法、などを各職員が夕礼で話し、共有している。ご家族にも初日の様子や、ご本人の訴えなど、出来る限り報告し、不安の軽減に努めている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
利用開始直後のコミュニケーションについては、職員によっては距離感がうまくつかめないという意見もあった、経験の問題もあるが、接遇やコミュニケーション技術の不足がある。 ご家族との関係については、遠方にお住まいの家族も多く、職員が関わる機会が少なかった。電話での報告等も管理者やケアマネが主で行っている事も関係していると考える。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・申し送りノートに重要な申し送り等記載したときは色分けや付箋を貼るなどわかりやすくなるよう継続して行う ・家族・本人との挨拶等日々のコミュニケーションの徹底 ・利用者本人やご家族の意向を職員間で共有し、ケア内容に反映できるようミーティング(夕礼)行う	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和元年11月29日(14:00～15:00)
2.「～したい」の実現(自己実現の尊重)	メンバー	【常勤】8名 【非常勤】6名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	7人	6人	人	14人

前回の改善計画	- ケアプランについての勉強会を開く(年1回) - 夕礼等で出た内容を各担当が把握できる体制を作る
前回の改善計画に対する取組み結果	- ケアプランについての勉強は実施できなかった - 夕礼の内容は各職員に伝わっているが担当としてその内容をどのように生かしていくかは今後の課題となっている

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	1	4	9		14
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	4	8	2		14
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		11	3		14
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	2	8	4		14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
日々のかかわりの中で、希望を聞き取り、外出や行事に生かすことが出来ている。夕礼にてその日に利用者様が話されていた内容を共有する事で、職員間で意思統一が出来て、企画などの意見が出やすい。 ケアプランについての勉強会は実施できなかったが、個人記録にケアプランの内容が記載されており、日々の取り組みについては実施しやすい。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
ケアプランについての詳しい勉強会は実施できなかった事もあり、長期目標と短期目標の関係性や、日々のケア内容が同目標に繋がっているのかの理解を深めることが出来ていない。 モニタリングを実施しているが、本人や家族の満足度や達成感を具体的に感じる事が出来ていない。 本人と家族のニーズの違いをすり合わせる事が出来ていない。(本人と家族の温度差がある)	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
- ケアプランについての勉強会を開く(年1回) - 夕礼等で出た内容を各職員が把握できるよう書類を作成し会議で確認する - 実施した内容についての振り返りも兼ねサービスについての利用者・ご家族アンケートの実施	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和元年11月29日(14:00～15:00)
3. 日常生活の支援	メンバー	【常勤】8名 【非常勤】6名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	10人	4人	人	14人

前回の改善計画	- 日々のケア内容や変化・本人の残存機能等を現場職員が担当職員へ伝える - 担当職員は計画作成担当者と変更の必要性を検討する
前回の改善計画に対する取組み結果	- ケア内容の変化や、利用者のサービス内容などは職員に周知できているが、担当職員の業務としては機能していなかった - 会議やモニタリングの際に担当職員とケアプランについて検討し、必要な支援にスムーズに変更できている

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？		5	8	1	14
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	7	7			14
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	1	11	2		14
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	3	11			14
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	1	12	1		14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
本人の状態を観察し、変化があれば看護師に報告しケア内容へ反映することが出来ている。表情や行動など、どのように見守りするかではなく、なぜそのような行動をするのか、どうすれば本人が落ち着いて生活できるのかを、職員間で共有出来ている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
本人の自宅での生活については、あまり多くの情報を得られていない。特に認知症があり独居生活をされている方は、周囲でご本人の生活状況を把握している方も少なく、ご本人からも情報収集が出来ない事も多い為、少ない情報でケアの方針を決めることもある。 自宅での生活が基盤ではあるが、事業所での生活を好まれ、今までとは違う生活スタイルになってしまう方も多くいた。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
- 日々気づきをメモし専用のボックスに入れ、定期的に確認し情報共有行う - 担当職員は計画作成担当者と変更の必要性をケース会議にて検討する(モニタリング)	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和元年11月29日(14:00～15:00)
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	【常勤】8名 【非常勤】6名

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	6人	7人	1人	14人

前回の改善計画	・担当者職員が聞き取りを行い、情報共有する ・地域活動を掲示するスペースを検討する
前回の改善計画に対する取組み結果	・各利用者の地域での活動などはおおむね把握できているが、実際に参加するに至っていない ・地域活動の掲示板は現在設置できていない

◆ 今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		8	6		14
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1	13			14
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		5	8	1	14
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		6	7	1	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
利用者とのコミュニケーションを通し、本人の生活スタイルや人間関係の情報収集は出来ている、地域や友人など、今までのかわりかで継続していけるものは継続し、本人の変化に合わせた関係性の変化も対応できている部分がある。 施設でのサービスにこだわらず、本人や家族の予定なども柔軟に取り入れている。地域資源についても今まで使っていたサービスは継続出来ている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
収集した情報を、共有しきれていない部分がある、個々の得た情報を共有する仕組みが出来ていない。 地域資源については、新しいサービスの導入はできていない。今までの生活に合ったサービスの選定は難しい部分もあるが、地域資源の情報もより収集する必要がある。 帰宅後の自宅での様子は独居の方が多く、本人からの聞き取りだけでは正確な情報収集は難しい。家族や近隣、友人などと情報交換をし、ご本人の见えない生活を少しでも減らせるよう対応したい。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・利用者とのコミュニケーションを通し、職員が聞き取った情報を共有する ・地域活動のチラシなどを面会簿の横に置き、自由に閲覧・持ち帰れるようにする	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和元年11月29日(14:00～15:00)
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	【常勤】8名 【非常勤】6名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	8人	5人	人	14人

前回の改善計画	・地域資源の情報を職員が目にすることが出来るよう整備する ・家族・本人と聞き取った内容を記録に残し情報共有する
前回の改善計画に対する取組み結果	・施設として把握している地域資源についてファイルは作成しているが職員への周知は出来ていない ・聞き取った内容は夕礼等で周知し申し送りノートに記載している。その情報を基にサービスの変更に役立てている

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1	10	3		14
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	4	10			14
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	5	9			14
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	6	7	1		14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
地域活動や、友人とのかかわりを有効活用できている。本人の状態に合わせサービスの使い分けがスムーズにできている、なぜ必要なのかも職員と共有出来ており、柔軟な対応から新しいサービス提供の仕方を見つけた事も出来ている。日々の変化や気づきを申し送りノートに記載し夕礼で話している。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
現役を退き、地域での役割を持たずに生活をしていた方など、改めて地域とのかかわりを作ることが必要か、判断が難しい。柔軟な対応をする中で、介護の範疇を超えるものも多くある、実際に必要かどうかや他の地域資源活用で代替できないか検討が必要。地域資源の情報は集めているが職員への周知が出来ていない、手に取りやすい場所に情報を置くなどの準備が必要。 日々の変化を申し送りノートなどに記載しているが、見落としや記入忘れがあると共有出来ていない。変化についても、報告した後検討するまでに至っていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・地域資源のファイルを作成し、職員が目にすることが出来るよう整備する ・家族・本人と聞き取った内容を申し送りノートや個人記録に残し、情報共有する	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和元年11月29日(14:00～15:00)
6. 連携・協働	メンバー	【常勤】8名 【非常勤】6名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	9人	5人	人	14人

前回の改善計画	・参加した会議内容を現場職員に報告する ・地域の活動情報を定期的に確認する
前回の改善計画に対する取組み結果	・管理者や計画作成担当者が参加した会議について、詳細を報告することが出来なかった ・地域活動については地域の方からの情報提供や各団地の掲示板等で確認することが出来ている

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか？	2	4	4	4	14
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	1	2	4	7	14
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか？		10	3	1	14
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？		5	5	4	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
連携会議や、地域活動へは管理者や一部の職員は参加できている。運営推進会議においても、出た要望や意見に対し、実施できることは早急におこなえるようになった。 職員の子供たちが遊びにきたり、ピアノの発表をしてくれている。地域の夏祭りやボランティアの受け入れなどにも、少しずつ力を入れられている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
参加した会議や、地域活動について、職員へ報告や周知できていない。特定の職員だけでなく、職員の中からも、参加できるように情報提供が必要。近隣の幼稚園や学校との交流は計画しているが、直接交渉するところまで至れていない。ボランティアに関しても特定の団体のみにとどまっており、ボランティア受け入れのすそのを広げなくてはいけない。地域住民の方が気軽にいれるような企画を実施できていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・地域の会議や多職種連携会議など職員も参加できるよう調整する ・参加した会議内容を現場職員に報告する ・地域の活動情報を定期的に確認する	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和元年11月29日(14:00～15:00)
7. 運営	メンバー	【常勤】8名 【非常勤】6名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4人	10人	人	人	14人

前回の改善計画	・要望・意見があった際は早期に報告し対応策の検討を行う
前回の改善計画に対する取組み結果	・ご家族や本人からの要望・苦情は早急に管理者に報告し、具体策について連絡行う ・地域の方からのご要望等は、可能な限り対応するが、対応が難しい場合は管理者より連絡行う

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?	1	9	3	1	14
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	11	1		14
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	10	2		14
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか?		2	12		14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
2ヵ月に一回業務改善会議を実施しており、職員から事業者やサービス提供のあり方について意見を聞く機会を持てている。利用者やご家族との連絡を密に取り、日々の意見や苦情を確認し対応している。送迎車など車に連絡先がついており、ご指摘をいただくこともある為、可能な範囲で対策を講じている。地域で講演への参加や、見学等の受け入れおこない相談窓口として機能しつつある。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
日々の業務については職員との意見交換は出来ているが、事業所自体の事や小規模多機能としてどう機能していくかについては深く意見を聞き取ることが出来ていない。送迎に関する、ご意見や苦情に対し、サービス内容や利用者の状況により、対応できないケースがある。地域へ施設について説明や講演を実施しているが、まだ地域の方が気軽に来られる施設になっていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・要望・意見があった際は早期に報告し対応策の検討を行う ・地域との協働した取り組みについては管理者より報告し情報共有行う	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和元年11月29日(14:00～15:00)
8. 質を向上するための取組み	メンバー	【常勤】8名 【非常勤】6名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	10人	1人	人	14人

前回の改善計画	・研修日程の年間計画作成・管理 ・ケース会議時に事故対策検討会の不定期(事故事案発生時)実施
前回の改善計画に対する取組み結果	・ほぼ、毎月職員は研修に参加できている ・研修内容についても報告を行い施設内でも共有できた ・事故発生時は当日に対策検討し実施、後日会議で事故についての検討を行っている

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	7	6	1		14
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	3	6	4	1	14
③	地域連絡会に参加していますか		2	4	8	14
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	2	9	1	2	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
社協や市町村の研修には年間計画を基に参加している。年間最低でも2回は研修に行けるよう調整できている。包括の地域ケア会議や多職種連携会議にはお声掛けいただき参加できている。リスクマネジメントについては、事故発生当日に対処策を検討し実施、その後、その月の会議にて事例検討を行い再発防止につなげている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
研修への参加は定期的にできているが、資格取得についてはまだ対象となっていない職員も多く、実施に至っていない、ただ試験対策の講座を実施した実績もある為、今後資格試験へのサポートは行っていく。リスクマネジメントについては、検討し実施した対応策についての、再検討を行えないことが多く、実際に効果があったか明確にできていない。地域の会議については、参加できているが現場職員へのフィードバックが出来ていない為、今後内容等の報告が必要。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・研修日程の年間計画作成・管理 ・各職員、年間最低1回の研修受講 ・ケース会議時に事故対策検討会の不定期(事故事案発生時)実施 ・事故の対応策を1週間以内にフィードバックし評価する	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和元年11月29日(14:00～15:00)
9. 人権・プライバシー	メンバー	【常勤】8名 【非常勤】6名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	11人	人	人	14人

前回の改善計画	- 記録は重要な個人情報であることを意思統一し、日々の業務時に声掛けしあう。 - 身体拘束・権利擁護の内外の研修への参加
前回の改善計画に対する取組み結果	- 記録や帳票は利用者や来客者の目に触れないように管理している - 身体拘束・権利擁護の研修には随時参加し、施設内でも定期的実施することで意識の向上がみられる

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	12	2			14
②	虐待は行われていない	13	1			14
③	プライバシーが守られている	4	9	1		14
④	必要な方に成年後見制度を活用している	5	8	1		14
⑤	適正な個人情報の管理ができている	3	10	1		14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
個人情報の管理は、ルールをしっかりと設け管理することが出来ている。記録の管理も鍵付きの書庫などに保管し、持ち出しできないようになっている。 身体拘束や虐待については定期的に研修を行い、「やってはいけない」だけでなく「やらない」ケアを目指し指導している。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
業務中に、利用者様への声掛けで「トイレ」など排泄に関する事を大きな声で話していることがある。 職員間では「トイレ」は1番、排尿の有無は+で伝えられているが、誘う時に使用できない為、配慮が必要。「～して下さい」「ちょっと待て下さい」など忙しくなるとスピーチロックになりうる声掛けがみられる。「～して頂いていいですか?」や「〇〇しているので〇分まっていただけますか?」など、声掛けの質の向上が必要。見守りの為居室のドアを少し開けておくことがあるが半分以上開いて、中が見えていることがある。後見制度については利用前から使っている人は問題なく利用できているが、施設に入ってから後見利用はまだできていない。後見制度の利用方法などを学ぶ機会を作る必要がある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
- 記録は重要な個人情報であることを意思統一し、日々の業務時に声掛けしあう。 - 身体拘束・権利擁護の内外の研修への参加	

外部評価 地域かかわりシート（結果まとめ様式）

A. 事業所自己評価の確認

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	少なくとも常勤のスタッフが全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか？	3		
2	事業所自己評価を作成する際、事業所の常勤スタッフ全員の意見が反映されていることが確認できましたか？ ※ただし、ミーティングの場面では常勤職員の 2/3 以上の参加が望ましい	3		
3	前回の改善計画に対して、スタッフ全員で具体的な取り組みが行われていましたか？	3		
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？	3		

【上記4つのチェック項目に関する意見】

※結果ではなく、事業所自己評価に取り組んだ経過（姿勢）に対する意見

・職員全員でしっかりと話し合いの中で評価が出来ており、今後の課題も明らかになっている。

【前回の改善計画に対して意見】

※前回の改善計画に対しての取り組み結果に対する意見

・各職員が利用者、家族本位の質の高いサービス提供に努め連携を図っていると思われる。分かりやすい申し送り方法、情報共有を図っている中、継続してほしいと思うと同時に今後新しい職員が入職した際の配慮もお願いしたい。

【今回の9つのテーマごとに記入された改善計画に対する意見】

※今回の改善計画が具体的かつ達成可能な計画になっているかについての意見

・改善にあたっての取り組みに関してはほぼ出来ていると思われる。その中で対応しきれないものに対しての分析も行われていることから期待したい。

【「自己評価」をテーマにした自由意見】

・同事業所内の中でもそれぞれの役割がある中、お互いの業務を理解、尊重し連携を図っていくことでより地域の場になっていくと思う。

【改善計画】※後日記入

- ・各評価項目に対し結果をまとめ評価がしやすいように配慮する
- ・議事録は評価会議として別途簡潔に作成する。
- ・資料は早めにお渡しする

B. 事業所のしつらえ・環境

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	3		
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？	2	1	
2	事業所は、居心地がいい空間になっていますか？	2	1	
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？	3		
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていますか？	3		

【上記5つのチェック項目に関する意見】

・事業所に何うと職員の方のみならず利用者の方からもご挨拶をいただきいい形で運営されていると思う。その為入りやすい環境になっていると思われ、施設自体が明るく清潔なイメージも強い。お部屋によっては昔を思わせるポスターを掲げており親しみやすくなっている。

【前回の改善計画に対して意見】

・地域の高齢者は増えており地域包括支援センターへの相談も一気に増えている。相談を分担したり関係機関ごとに連携を図ることで住民が安心して通える場所が地域に増えていけばいいと思いますし、1つの資源としてその役割を担ってほしい。

【「事業所のしつらえ・環境」をテーマにした自由意見】

・居心地がいいという場所は人とのつながりがあり、環境の良さというものが影響すると思うが頼りになる事業所というのも1つと考えられる。事業所内外ともに研修を計画し参加がみられる中で質が向上していくと思われる。専門的な研修への参加、その知識を事業所内で共有していくことで地域の頼られる場所でいただきたい。

・施設へ入りやすい様に取り組まれているが、まだ敷居が高い。介護は必要になったときに初めて考える事なのでどこで相談したらよいか分かるようにしてほしい。

【今回の改善計画】※後日記入

- ・見学の案内や施設の案内を
施設内のみではなく、地域の掲示板や公民館・コミュニティセンター等への掲示を検討する。
- ・参加した研修内容を内部研修で職員間に周知する。
- ・ウェルカムボードをもっと見やすい位置に移動し、電話番号などを書いたカードを用意する

事業所と地域のかかわり

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	3		
1	職員はあいさつできていますか？	3		
2	事業所は、地域の方に知られていますか？	2		
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？	2		
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？	3		

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・職員の方の挨拶が徹底しており事業所への訪問も明るい雰囲気迎え入れて下さる為、居心地が良く利用者の方も満足した生活を送っていると思われる。
- ・住民からの相談も受けており必要に応じた対応がとられていることから、事業所の運営だけではなく住民の相談窓口となっている。

【前回の改善計画に対して意見】

- ・地域交流においては積極的に関わろうという姿勢がみられているが計画達成には行き届いていないということだが、身近なところ、出来ることから行っていくのがいいと思う。職員間の申し送り、引継ぎがしっかり行われれば事業所全体で地域に目を向けていけると思います。

【「事業所と地域のかかわり」をテーマにした自由意見】

- ・日頃の業務が多忙であるとなかなか動けないこともあると思います。事業所内の業務と地域の業務を効率良く合わせて行っていくことで地域密着を目指していくのも1つの方法だと思います。

【改善計画】※後日記入

- ・今後も継続して、挨拶等基本的なコミュニケーションは継続していく
- ・地域への情報発信ツールを確立し情報発信力をつける
- ・地域の方からの情報だけでなく職員自ら情報収集する。
- ・イベントの告知等、事前に地域の方と相談し進める

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	3		
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？	3		
2	利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか？	3		
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？	3		
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？	2		1

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・地域行事への参加は報告を受け事業所内の催しに対しても大きな規模で行っている。写真等でも確認させていただいたが利用者の方々の表情もとてもよく映っている。
- ・地域包括職員との訪問により相談に応じたり消費者被害者等、問題を抱えている方の報告を受け連携を図っている。

【前回の改善計画に対して意見】

- ・あまり改善計画が達成されていないと報告は受けているが、1つ1つ対策を積み上げている為、それらを継続していく中で地域と深い関りをもって出向いていける機会が増えていくと思います。

【「地域に出向いて本人の暮らしを支えている」をテーマにした自由意見】

- ・地域に出向いていこうという気持ちが随時伝わってきます。職員全員が同じ気持ちを持つことで安心かつ安全な在宅生活につながっていくと思います。

【改善計画】※後日記入

- ・周辺の幼稚園や小学校などの
子供たちと交流できるよう、調整おこなう
- ・地域での相談事や、あんしんケアセンターとの連携内容など
具体的に数字化し報告行う
- ・行事だけでなく、日々の様子も通信に掲載し説明を行う。

E. 運営推進会議を活かした取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	2		1
1	運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？	3		
2	運営推進会議では、地域の心配の方等の事例検討が行われていますか？	1	1	1
3	運営推進会議では、地域での取組みを一緒に取組もうとしていますか？	3		
4	運営推進会議で出た意見を、改善につなげていますか？	3		

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・ 毎回運営している事業に対してわかりやすく、また前回課題にあがったものに対しての報告をしっかり受けている。
- ・ 事例検討に関しては時間が決められる中で行うことは難しく、今後の会の進め方も課題となる。
- ・ 地域と関わろうという姿勢はみられていることから今後に期待がもてる。

【前回の改善計画に対して意見】

- ・ 地域の把握に努め情報や資料を集めたり、各種イベントへの参加もみられ改善を図ろうとしている。地域交流において互いの役割というのをよく理解した上で改善していただきたい。

【「運営推進会議を活かした取組み」をテーマにした自由意見】

- ・ 毎回まとまりのある会議が行われており、出席者の理解が深められているがより住民に小規模多機能と事業所、地域の間というのを認識していただくにはより外に目を向けていかなければならないと思います。関係機関の会議や研修の参加が頻繁にみられている中、当センターでも協力していきたい。

【改善計画】※後日記入

- ・ 事業所のサービス内容や事例だけではなく、地域の福祉にまつわる相談を聞き取る時間を設ける
- ・ あんしんケアセンターと協力し
地域での明生苑の役割を明確に伝えられるよう、イベント等へ積極的に協力行う

F. 事業所の防災・災害対策

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	1		2
1	事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？	2		1
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？		1	2
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？		3	
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？	2		1

【上記5つのチェック項目に関する意見】

・地域の防災訓練への参加を心がけていることは運営推進会議でも報告を受けている。以前確認したところ参加には至っていないということで今後関わっていただければと思います。

【前回の改善計画に対して意見】

・自施設に関しては災害対策がしっかり行われている中で、今後施設自体が地域の資源だということも意識し地域の防災訓練の参加をして頼られる存在となってほしい。

【「事業所の防災・災害対策」をテーマにした自由意見】

・災害が実際に起きている事実から出来ていることは継続し、課題があるようであれば対策を練って対応してほしいと思います

・自施設での消防訓練で大変だとは思いますが、地域での消防の取り組みにもぜひ参加して頂きたい

【改善計画】※後日記入

- ・防災計画の周知行うため
わかりやすい書式で情報提供行う
- ・地域訓練への参加できるよう
情報収集行い地域防災組織との連携図る
- ・自事業所の訓練の見学・参加して頂けるよう、訓練の日程や内容等を周知する

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	医療法人社団明生会	代表者	田畑 陽一郎	法人・事業所の特徴	「住み慣れた地域で、住み慣れた家でずっと過ごしたい」 その思いを実現できるよう、「地域活動への参加」「地域での役割継続」を目指し利用者の個々に合わせ 可能な限り自立した日常生活を送ることができるよう、利用者の状態に応じて、施設への「通所」を中心として、短期間の「宿泊」や利用者の自宅への「訪問」を組合せ、住み慣れたな環境と地域住民との交流の下で日常生活上の支援や機能訓練を行えるサービスです。
事業所名	小規模多機能型居宅介護事業所 明生苑	管理者	柴田 直樹		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0 人	1 人	3 人	1 人	0 人	1 人	0 人	4 人	2 人	12 人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	- 各評価項目に対し結果をまとめ評価がしやすいように配慮する - 評価会議を施設のケース会議内で行っていたため、議事録が一つになってしまった。 利用者の個人情報に目につけることが出来ない為、議事録は評価会議として別途作成する。	- 評価会議の議事録を作成し、事業所自己評価と合わせて配布を行った。しかしながら、わからないという回答がみられており、まだ改善の必要性がある。 - 評価会議の議事録書式についてもより見やすい形に変更が必要	- 職員全員でしっかりと話し合いの中で評価が出来ており、今後の課題も明らかになっている。 - 各職員が利用者、家族本位の質の高いサービス提供に努め連携を図っていると思われる。分かりやすい申し送り方法、情報共有を図っている中、継続してほしいと思うと同時に今後新しい職員が入職した際の配慮もお願いしたい。 - 改善にあたっての取り組みに関してはほぼ出来ていると思われる。その中で対応しきれないものに対しての分析も行われていることから期待したい。	- 各評価項目に対し結果をまとめ評価がしやすいように配慮する - 議事録は評価会議として別途簡潔に作成する。 - 資料は早めにお渡しする

			・同事業所内の中でもそれぞれの役割がある中、お互いの業務を理解、尊重し連携を図っていくことでより地域の間になっていくと思う。	
B. 事業所の しつらえ・環境	・見学のご案内は掲示しているが、まだ認識されていない。表示方法の改善を行い相談に入りやすい環境を作れるよう努力する。 ・一定の評価をいただいているが、職員一人一人の知識向上のため研修等の参加を行う	・見学の表示やイベントの告知等を玄関前に掲示しているが、地域の方に見ていただけていない。施設での啓示にとどまらず自治会の掲示板や公民館・コミュニティセンターなどでの告知を考えても良いのではないか。 ・研修について参加は十分にできている。今後は研修で学んだ内容を施設内で共有するとともに、地域での介護講座など発信する役割を担う必要がある	・事業所に何うと職員の方のみならず利用者の方からもご挨拶をいただきいい形で運営されていると思う。その為入りやすい環境になっていると思われ、施設自体が明るく清潔なイメージも強い。お部屋によっては昔を思わせるポスターを掲げており親しみやすくなっている。 ・地域の高齢者は増えており地域包括支援センターへの相談も一気に増えている。相談を分担したり関係機関ごとに連携を図ることで住民が安心して通える場所が地域が増えていけばいいと思いますし、1つの資源としてその役割を担ってほしい。 ・居心地がいいという場所は人とのつながりがあり、環境の良さというものが影響すると思うが頼りになる事業所というのも1つと考えられる。事業所内外ともに研修を計画し参加がみられる中で質が向上していくと思われる。専門的な研修への参加、	・見学の案内や施設の案内を施設内のみではなく、地域の掲示板や公民館・コミュニティセンター等への掲示を検討する。 ・参加した研修内容を内部研修で職員間に周知する。 ・ウェルカムボードをもっと見やすい位置に移動し、電話番号などを書いたカードを用意する

			その知識を事業所内で共有していくことで地域の頼られる場所でいただきたい。 ・施設へ入りやすい様に取り組まれているが、まだ敷居が高い。介護は必要になったときに初めて考える事なのでどこで相談したらよいか分かるようにしてほしい。	
C. 事業所と地域のかかわり	・今後も継続して、挨拶等基本的なコミュニケーションは継続していく ・地域の集まりやお祭りなど高齢者だけでなく、地域住民にも施設の情報を発信する方法を検討する ・「介護相談会」や「初めての介護保険」などテーマを決めて一般開放の研修を企画する	・地域での挨拶やコミュニケーションなどは大変評価して頂いている。 ・施設の情報発信については施設内での啓示に留まり、地域への発信力はまだ不足している ・感染症の季節などは人が集まるイベントが開催できない状況が続いていた。時期を見て積極的に提案していく必要がある。	・職員の方の挨拶が徹底しており事業所への訪問も明るい雰囲気で見え込んで下さる為、居心地が良く利用者の方も満足した生活を送っていると思われる。 ・住民からの相談も受けており必要に応じた対応がとられていることから、事業所の運営だけではなく住民の相談窓口となっている。 ・地域交流においては積極的に関わろうという姿勢がみられているが計画達成には行き届いていないということだが、身近なところ、出来ることから行っていくのがいいと思う。職員間の申し送り、引継ぎがしっかり行われれば事業所全体で地域に目を向けていけると思います。 ・日頃の業務が多忙であるとなかなか動けないこともあると思い	・今後も継続して、挨拶等基本的なコミュニケーションは継続していく ・地域への情報発信ツールを確立し情報発信力をつける ・地域の方からの情報だけでなく職員自ら情報収集する。 ・イベントの告知等、事前に地域の方と相談し進める

			ます。事業所内の業務と地域の業務を効率良く合わせて行くことで地域密着を目指していくのも1つの方法だと思います。	
D. 地域に出向いて 本人の暮らしを支える取組み	・日々の様子や、地域住民へのアプローチなど事例をもとに説明をする機会を作る。 ・行事だけでなく、日々の様子も通信に掲載し説明を行う。	・施設での取り組みや、日々の様子などは、明確に提示できていた。地域住民へのアプローチはあまり積極的には行えておらず、明確な事例を提示できなかった。もっと具体的な取り組みを目標とすることが必要。 ・通信にて、行事やイベントだけでなく、日常の取り組みを乗せることで、小規模の事をさらに理解して頂けた。	・地域行事への参加は報告を受け事業所内の催しに対しても大きな規模で行っている。写真等でも確認させていただいたが利用者の方々の表情もとてもよく映っている。 ・地域包括職員との訪問により相談に応じたり消費者被害者等、問題を抱えている方の報告を受け連携を図っている。 ・あまり改善計画が達成されていないと報告は受けているが、1つ1つ対策を積み上げている為、それらを継続していく中で地域と深い関りをもって出向いていける機会が増えていくと思います。 ・地域に出向いていこうという気持ちが随時伝わってきます。職員全員が同じ気持ちを持つことで安心かつ安全な在宅生活につながっていくと思います。	・周辺の幼稚園や小学校などの子供たちと交流できるよう、調整おこなう ・地域での相談事や、あんしんケアセンターとの連携内容など具体的に数字化し報告行う ・行事だけでなく、日々の様子も通信に掲載し説明を行う。

E. 運営推進会議を活かした取組み	・今までは、自事業所の運営、地域住民との関りについてが、中心だったが、今後は地域における福祉の課題や、自事業所に求められる役割なども意見交換し、活動に生かしていきたい。	・事業所の情報や運営については正確に情報を発信できている ・地域の情報収集も積極的に情報提供いただき参考にさせていただいている。 ・地域の課題や福祉の課題等については、具体的に内容を提示し事前に検討できるようにしていく必要がある。	・毎回運営している事業に対してわかりやすく、また前回課題にあがったものに対する報告をしっかりと受けている。 ・事例検討に関しては時間が決める中で行うことは難しく、今後の会の進め方も課題となる。 ・地域と関わろうという姿勢はみられていることから今後に期待がもてる。 ・地域の把握に努め情報や資料を集めたり、各種イベントへの参加もみられ改善を図ろうとしている。地域交流において互いの役割というのをよく理解した上で改善していただきたい。 ・毎回まとまりのある会議が行われており、出席者の理解が深められているがより住民に小規模多機能と事業所、地域の間というのを認識していただくにはより外に目を向けていかなければならないと思います。関係機関の会議や研修の参加が頻繁にみられている中、当センターでも協力していきたい。	・事業所のサービス内容や事例だけでなく、地域の福祉にまつわる相談を聞き取る時間を設ける ・あんしんケアセンターと協力し地域での明生苑の役割を明確に伝えられるよう、イベント等へ積極的に協力行う
--------------------------	--	---	--	--

F. 事業所の 防災・災害対策	・防災計画の周知 ・地域訓練への参加 ・地域防災組織との連携 ・自事業所の訓練の見学・参加の促進	・明生苑の防災計画を分かりやすく提示することが出来なかった 消防計画書ではなく実際の取り組みを分かりやすく提示していきたい ・地域の消防訓練への参加は情報収集が不足し参加できていなかった。 ・地域の訓練に参加することで、地域の防災組織との連携を深められるよう情報収集が必要 ・自施設の訓練等を地域の方にも参加して頂けるよう情報発信が重要だと感じた	・地域の防災訓練への参加を心にかけていることは運営推進会議でも報告を受けている。以前確認したところ参加には至っていないということで今後関わっていただければと思います。 ・自施設に関しては災害対策がしっかり行われている中で、今後施設自体が地域の資源だということも意識し地域の防災訓練の参加をして頼られる存在となしてほしい。 ・災害が実際に起きている事実から出来ていることは継続し、課題があるようであれば対策を練って対応してほしいと思います ・自施設での消防訓練で大変だとは思いますが、地域での消防の取り組みにもぜひ参加して頂きたい	・防災計画の周知行うため わかりやすい書式で情報提供行う ・地域訓練へ参加できるように定期的に情報収集行い、地域防災組織との連携図る ・自事業所の訓練の見学・参加をして頂けるよう、訓練の日程や内容等を運営推進会議などで周知する
----------------------------	---	--	---	---